

ジブチ月例報告 (2024年1月)

在ジブチ日本国大使館

【外政】

- 1月3日、ゲレ大統領は、ジブチを訪問していたスーダン文民勢力代表ハムドゥーク元首相と会談。スーダン危機に係るブルハン・スーダン主権評議会議長とダグロ即応支援部隊（RSF）司令官との間の信頼醸成に関する意見交換を実施。
- 1月8日、外務・国際協力省は、エチオピア・ソマリア関係に関するコミュニケを发出。同コミュニケでは、エチオピア・ソマリア間における極度の緊張状態の推移に大きな関心を有しており、両国に対して対話の道を優先して緊張の段階的緩和に向けた努力を呼びかける旨等について言及。
- 1月14日、外務・国際協力省は、ジブチ共和国はイエメンにおける地点に向けた攻撃を背景とする紅海地域の情勢の推移に大きな懸念をもって注視しており、自制とエスカレーションの回避を呼びかけている旨等を発表。
- 1月16日、ゲレ大統領は、1月14日に即位にしたフレデリック10世デンマーク国王に対して祝電を发出。
- 1月18日、第42回IGAD臨時首脳会合がウガンダで開催され、IGAD議長であるゲレ大統領が出席。主な議題は、スーダン情勢及び1月1日にエチオピアとソマリランドの間で交わされた覚書後に生じたエチオピア・ソマリア情勢。
- 1月20日、ゲレ大統領は、フェリックス・アントワン・チセケディ・チロンボ・コンゴ民主共和国大統領の就任式に出席。
- 1月21日、マリアム・デジタル経済・イノベーション担当大臣は、EU及び世銀が資金支援する零細・中小企業支援プロジェクトの開始式を開催。同プロジェクトの目的は、起業家の立ち上げ支援に重点を置き、ビジネス成長を促進する環境整備。
- 1月28日、外務・国際協力省は、ガザのパレスチナ人に対するジェノサイドの防止と処罰に関する条約違反を主訴として南アフリカによって提訴されたイスラエルに対する国際司法裁判所（ICJ）の暫定措置命令を歓迎する旨発表。
- 1月28～30日、アブドゥルカデル首相は、伊アフリカ・サミットに出席するためローマを訪問。
- 1月29日、ゲレ大統領は、ジブチを訪問していたAdel Al Assoumi アラブ議会議長と会談し、アラブ世界におけるイスラエル・パレスチナ問題といった主要な議題について意見交換。

【経済・開発】

- 1月4日、ヨニス・エネルギー大臣及びアワレ農業・水・漁業・畜産・水資源大臣は、

ジブチを訪問していたエチオピアのスルタン水・エネルギー国務大臣をヘッドとする代表团と意見交換を実施。同意見交換では、ジブチ・エチオピア間の第2送電線敷設プロジェクトや飲料水供給プロジェクトについて議論。

●1月22日、ゲレ大統領は、ドラレ・コンテナ・ターミナルに設置された新たな4基のガントリー・クレーンの運転開始式に出席。同ガントリー・クレーンは、高さ135メートルの最大級の船舶に対応し、1時間あたり100回の移動が可能なもの。

●1月22日、ヨニス・エネルギー大臣は、グリーン水素の研究・開発・製造を専門とする米企業CWP Global社代表団の表敬を受け、ジブチでグリーン水素を開発・製造するプロジェクトの進捗状況について意見交換。

●1月25日、ゲレ大統領は、タジュラ州で開催された水耕栽培農園の開所式に出席。同農園は、年間生産量180トン以上の野菜・果物の生産を見込むとともに、地元の農家や畜産家のトレーニング・センターとして機能。

【保健・衛生・社会】

●1月10日、アブドゥルカデル首相は、Mohamed Ould Amar アラブ連盟教育文化科学機構(ALECSO)事務局長をヘッドとする同機構代表团からの表敬を受け、ジブチにおけるアラビア語普及のために同機構が実施した活動等に対する謝辞を表明。

●1月10日、ナビル高等教育・研究大臣は、駐ジブチ・トルコ大使をヘッドとするイスタンブール工科大学代表团の表敬を受け、ジブチ大学との協力関係について意見交換。

●1月29日、ゲレ大統領は、2024年国家連帯週間の開始式典に出席。同式典のスピーチにおいて貧困問題を削減するべく、貧困削減戦略の立案、マイクロ・ファイナンス・ツールの開発、貧困削減を担当する機関の設立といった施策について言及。

【軍事・治安】

●1月3日、国家憲兵隊創設47周年式典が開催。同式典には、アブドゥルカデル首相を始め、ディレイタ国民議会議長、ブルハン国防大臣、ハッサン・サイド治安庁長官、ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長らが出席。

●1月8日、ジブチ国家憲兵隊は、1月10日に国連警察組織警察隊(FPU)として中央アフリカへ第2陣として派遣される部隊の出発記念式を開催し、ブルハン国防大臣、ザッカリア国家憲兵隊参謀長らが出席。第1陣は、1月9日に帰投予定。

●1月14日、ジブチ地域海洋訓練センター(DRTC)は、5日間の海洋危機管理に関するセミナー開始式を開催。同セミナーは、国内外の専門家によるプレゼンテーションやワークショップ等を通じて、ジブチ関係者の能力開発を促進することを目的に実施。

●1月16日、国防大臣、統合参謀長等の各治安部隊の指揮官がマルヤマ演習場にてATMIS派遣部隊の出発式に参加。部隊は第11ソマリア支援大隊(bataillon Hill 11)の857名。

【日本関係】

- 1月10日、原大使は、アフメッド保健大臣を表敬訪問し、保健分野を始めとする日ジブチ二国間関係について意見交換を実施。また、14日に大統領府次官、16日にイリヤス経済・財政大臣、17日にサフィア投資・民間部門開発庁長官、21日にヒボ青年・文化大臣及びワルサマ商業・観光大臣、24日にサイド内務大臣及びハッサン・インフラ・設備大臣に着任表敬。
- 1月15日、訪日していたモハメド保健省次官は、「ジブチ市三次医療病院における医療機材整備計画」に係る技術札の開札に立会い、ジブチ国民の健康増進に対する日本政府と日本国民の支援に対する感謝の意を表明。
- 1月22日、原大使とユスフ外務・国際協力大臣は、日本が約59億円を拠出する無償資金協力「パルマレ道路橋梁建設計画」に関する書簡の交換を実施。同計画は、ジブチ市内パルマレ道路に橋梁を建設し、道路を改良することで、交通容量を拡大し、洪水時の安全な交通手段を確保することを目指すもの。
- 1月31日、ゲレ大統領は、原大使らとともに、日本が約21億円を拠出した無償資金協力プロジェクト「新渡戸稲造基礎教育学校」の引渡式に参加。同プロジェクトは、ジブチ市バルバラ地区ナッシブに小中学校を建設し、同地域の基礎教育へのアクセスと質を向上させるために必要な設備を提供するもの。

(了)